

8-4-25 設計ソフトウェア連絡WG

1. 主な活動の記録

(1) 組織

道路構造物専門委員会 4 名、道路専門委員会 1 名、河川構造物専門委員会 1 名より構成。

(2) 「既存設計用ソフトウェアのアンケート」の整理・分析

設計ソフトウェア連絡 WG は、設計計算に関連するエラー防止対策の一環として、ソフトウェアの提供者であるソフトウェア会社とそれを利用する建設コンサルタントが、相互に抱える課題を認識・共有し、双方成果(ソフトウェア・設計計算書)の「品質確保」と「品質向上」を図ることを目的とする。

橋梁設計、道路設計および河川構造物設計に関連する「各種設計ソフトウェアについての意見・改善要望等」のアンケート調査を実施した。アンケートの集計結果に対する各ソフトウェア会社の回答を本 WG にてとりまとめた。

(3) 国交省の橋梁設計業務における各種ソフトウェアの「ダブルチェック結果の照査リスト」・「必要機能の有無照査リスト」の実施ととりまとめ

昨年度「H29 道示の改訂に伴う国交省設計業務におけるダブルチェックの実施状況とその際に生じた結果の差異についてまとめたダブルチェック結果の照査リスト」および「既存設計ソフトウェアに対する要望・意見を把握するためのソフトウェア必要機能の照査リスト」のアンケート調査結果に対し、各設計ソフトウェア会社から回答を受領した。建設コンサルタントの要望とそれに対するソフトウェア各社の見解を取りまとめた。本年度は、複数のアンケート結果のうち、課題となる項目を体系的に取りまとめ、道示改訂 WG に提示する資料を作成した。

2. 次年度の活動について

令和 5 年度は以下の活動を継続的に実施する。

(1) 設計ソフトウェアに関するアンケート調査

(不具合・改善要望・提案)の実施(構造・道路・河川)

(2) 設計ソフトウェアに関するアンケート調査結果の課題収集と整理・分析

(3) 協会ホームページへアップロードされているエラー事例の保守と新たな事例等の追加

(4) 道示改訂 WG への「ダブルチェック結果の照査リスト」・「必要機能の有無照査リスト」の提示

(設計ソフトウェア連絡WG WG長 石井 岳生)